

令和5年度公益社団法人京都府青少年育成協会 事業報告

令和5年度も、昨年度に引き続き、青少年健全育成の取組を進める標語(スローガン)『気づいてる? あなたのまわりの あたたかさ』のもと、青少年をあたたかく見守り、その健やかな成長を支援する健全な地域社会づくりを推進するため、「令和5年度重点目標」に沿って、活動を展開することとしました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5月に5類に移行し、会員の皆様の御支援と、京都府をはじめとする関係行政機関、関係団体等にも御支援、御協力をいただき、多くの事業をコロナ以前と同様に進めることができました。特に、「少年の主張京都府大会」や、「家族ふれあい大賞」「第27回明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」を京都府、京都府教育委員会等と共催で取組み、また、10月には、「京都府青少年すこやかフォーラム」を南北2会場で開催し、200名を超える多くの方に参加をいただきました。更に、11月には街頭啓発活動の実施、広報誌「わかもの京都」の3回にわたる発行、HPの更新等、広報、情報提供活動などにも重点を置いて、青少年育成府民運動の推進に努めました。

また、当協会が令和5年4月から引き続き指定管理者の指定を受けて管理・運営する「京都府立青少年海洋センター(マリーンピア)」及び「宮津市B&G海洋センター」の各施設においても、コロナ禍の影響により困難な状況は残りましたが、そうした状況下においても実施可能な事業の展開に努めました。

〈令和5年度重点目標〉

「明るい家庭と地域の輪が育てる 心豊かな青少年」

～青少年をあたたかく見守る地域社会づくり～

- 1 青少年育成府民運動の推進
- 2 青少年の自主活動・社会参加の促進
- 3 明るい家庭づくり運動の推進
- 4 青少年の問題行動の防止、非行対策及び社会環境浄化の推進
- 5 会員団体との連携・活動支援
- 6 京都府立青少年海洋センター(マリーンピア)の利用促進

公1 「青少年育成府民運動の推進事業」の実施状況

【重点目標1】 青少年育成府民運動の推進

1 青少年健全育成推進のための街頭啓発活動

「青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)」及び「秋の子どもまんなか月間(11月)」に呼応し、府内の会員団体(青少年団体等)の協力を得て実施している街頭啓発活動は、7月は雨天により中止となりましたが、11月23日(木・祝)には、イオンモール高の原において、知事・高校生メッセージ、また、中高生による吹奏楽やマジックショーのミニコンサートと合わせて実施することができました。

また、今年度は、11月3日(金・祝)に京都府立植物園で開催された「府民交流フェスタ2023」に協会のブースを設置し、「松ぼっくりでクリスマスツリーを作ろう」に取り組み、100名を超える多くの方に参加いただき、啓発活動を行うことができました。

青少年育成市町村民会議等と連携・協働した街頭啓発活動も、11月4日(土)に亀岡市青少年育成地域活動協議会と協働で亀岡市サンガスタジアムで開催された「まるごと子育てフェスタ」において実施しました。

更には、京都府と協働で、令和2年度から、7月と11月の全国強調月間に呼応して、「青少年健全育成啓発パネル展」に取り組んでいます。

(令和5年度の取組状況)

7月 9会場 (④11会場)

*京都府庁、宇治総合庁舎、宇治市役所、亀岡総合庁舎、福知山総合庁舎、舞鶴市役所、
宮津市浜町ギャラリー、峰山ショッピングセンターメイン、京都府立青少年海洋センター

11月 8会場 (④6会場)

*京都府庁、京都市中央青少年活動センター、宇治総合庁舎、亀岡総合庁舎、舞鶴総合庁舎、
峰山ショッピングセンターメイン、京都府立植物園、亀岡市サンガスタジアム

*京都府立青少年海洋センター(マリンピア)及び会員団体等と連携して、団体のホームページ(バナー)を活用し、「青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)」の啓発を行った。

【協力いただいた会員団体等(4団体)】

京都府レクリエーション協会、(公財)青少年野外活動総合センター、
京都府立青少年海洋センター、城陽五里五里の丘(非会員)

2 「大人が変われば子どもも変わる運動」の推進

広報誌「わかもの京都(Vol.131)」からシリーズで「大人が変われば子どもも変わる」、「地域の子どもは地域で守り育てる」などをコンセプトとした啓発活動を展開しています。

今年度は、136号でシリーズ5として、「モラルの向上を目指した取組」を掲載しました。

【大人が変われば子どもも変わる運動】

- 1 「まず、大人自身が変わる」啓発運動の推進
- 2 「地域のおじさん・おばさん運動」の推進
- 3 「モラルの向上を目指した取組」の推進

3 青少年育成市町村民会議懇談会の開催

府内を4ブロックに分けて開催している「市町村民会議懇談会」は、コロナ禍により2年間中止せざるを得ませんでした。昨年度から全てのブロックで開催しています。

今年度は、コロナが収束する中での事業の実施状況や地域でのコミュニケーションの低下など、活動する上で苦慮されていることなどを情報交換することができました。

また、京都府ヤングケアラー総合支援センターから、「ヤングケアラーへの支援～青少年のすこやかな成長のために地域で出来ること～」と題して講演をいただきました。

山城北ブロック(*1)	令和5年6月22日(木)	久御山町役場	参加者 52名
山城南ブロック	令和5年8月 3日(木)	京田辺市中央公民館	参加者 26名
乙訓・南丹ブロック	令和5年9月11日(月)	園部総合庁舎	参加者 24名
中丹・丹後ブロック	令和5年9月12日(月)	京都府総合教育センター(北部研修所)	参加者 21名

*1 山城北ブロックは、「宇治・城陽・久御山青少年健全育成推進協議会総会」の開催をもって懇談会の開催とさせていただきます。

4 「青少年育成市町村民会議訪問」の実施

コロナ禍で2年続きで懇談会が開催できなかったことを受けて、今後の青少年健全育成府民運動推進の一助とするため、一昨年度から3年計画で、各市町村民会議を訪問させていただき、役員の皆様方等と懇談を行いました。

また、協会からは、啓発活動、明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展、少年の主張京都府大会、京都府青少年すこやかフォーラムの開催など協会の事業について、各市町村民会議との連携・協働を要請しました。その後、各団体の活動の状況等について懇談しました。

各団体からは、

- ・青少年の課題が今はネット上のトラブル等、表に見えない課題が増えてきていること。
- ・学校、家庭、地域社会の三本柱をどのようにつないでいくかが課題であること。
- ・公民館が地域活動の中核を担って活動を進めていること。
- ・市町村の協議会には、当事者である青少年の参画も必要ではないか。などの報告や
- ・フォーラムや市町村民会議懇談会では、少人数で地域課題やニーズについて話ができる機会を持ってもらいたいとの要望がありました。

※ 今年度で全ての市町村訪問を終えましたが、引き続き実施する方向で検討します。

5 「青少年健全育成地域連携推進事業」の実施

(1) いじめ・非行防止フォーラムの開催

府内5つの教育局等と連携し、「いじめ・非行防止フォーラム」を共催・後援で開催しています。令和5年度は、5教育局全てが対面により開催いただきました。

乙訓(後援)	乙訓いじめ・非行防止フォーラム		
	6月17日(土)	長岡京立中央公民館	参加者 112名
山城(共催)	山城未来っ子みんなでHUGフォーラム		
	6月25日(日)	宇治田原町総合文化会館	参加者 150名
南丹(後援)	なんたん子育てフォーラム		
	6月25日(日)	京都医療科学大学	参加者 200名

中丹(共催)	みんなでコラボ in 中丹	
	6月24日(土) 京都府総合教育センター(北部研修所)	参加者 180名
丹後(後援)	丹後いじめ・非行防止フォーラム	
	6月4日(日) アグリセンター大宮	参加者 152名

(2) 京都府青少年すこやかフォーラム(市町村との連携)

青少年育成関係者みんなで「学び、考え、行動する」機会として、子どもたちへの危険性が増大しているスマホやインターネットの利用の現状について、あるいは、青少年の薬物乱用防止等について、自ら考える機会として、青少年育成市町村民会議や青少年(育成)団体等と連携・協働し、時機を得た内容でフォーラムを開催することとしています。

5年度は、青少年育成関係者の研修・交流の場として、「みんなの力で子どもを育てるために」～地域・家庭・学校の連携・協働を目指して～をテーマに府内南北2会場で開催しました。(全体で200名の参加)

(概要) ・佛教大学 原副学長 講演
・パネルディスカッション(パネラー6名)

【この間のフォーラム開催経過等】

- ㊸ 京都市内2会場 350名 ㊹ 南丹市内 170名 ㊺ 京都市内と城陽市内 380名
- ① 舞鶴市内 250名 ②③ 亀岡市内 中止 ④ 亀岡市内 125名
- ⑤ 京都市内と綾部市内 200名

6 広報・情報提供事業の実施

(1) 広報誌「わかもの京都」の発行

協会の活動等を紹介する広報誌「わかもの京都」(定期号)を年1回(5,000部)発行し、会員団体等に配布しています。(Vol.136は令和6年3月発行)

今回は、雨天により中止となった7月「青少年の非行・被害防止全国強調月間」街頭啓発活動での「知事メッセージ」「高校生メッセージ」、SNSによる被害防止の啓発等を掲載しました。

また、市町村民会議や青少年団体の活動を紹介する「わかもの京都」(臨時号)を発行しました。(7月に「2023夏号」を、1月に「2024冬号」を発行しました。(web版))

(2) 協会ホームページによる情報発信の充実

※ 協会、各市町村の取組等を紹介するホームページのタイムリーな更新に努めました。(延べ71回更新)

※ 協会ホームページにカウンターを設置しました。(令和2年10月4日)234,000のアクセス(R6.3.現在)

※ 少年の主張京都府大会の動画(YouTube)を協会ホームページに掲載しました。

※ 「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」の入賞作品や、「少年の主張京都府大会」の入選作品を掲載しました。

※ 会員団体等と連携して、団体のホームページ(バナー)を活用し、「青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)」の啓発を行いました。

【協力いただいた会員団体等(4団体)】

* 京都府レクリエーション協会、(公財)青少年野外活動総合センター、
京都府立青少年海洋センター、城陽五里五里の丘(非会員)

【重点目標2】 青少年の自主活動・社会参加の促進

1 「第45回少年の主張京都府大会」の開催

次代を担う子どもたちには、心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける健やかな成長が求められています。そのためには、広い視野と柔軟な発想や想像力などとともに、物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく伝え、理解してもらう力などを身につけることが大切です。

子どもたちにとって、これらの契機となることを願い、第45回少年の主張京都府大会を開催しました。

(1) 応募状況及び入選・佳作人数

	応募校数	応募編	入選	佳作
㊸	38校	3,049編	16名	20名
㊹	29校	2,890編	15名	30名
㊺	32校	2,874編	20名	28名
①	32校	4,713編	16名	25名
②	23校	1,586編(推薦9校9編含む。)	17名	20名
③	34校	5,385編(推薦14校14編含む。)	16名	30名
④	33校	5,104編(推薦14校14編含む。)	17名	33名
⑤	38校	7,040編(推薦19校20編含む。)	15名	37名

(2) 入賞者等の選考

事前の審査委員会で発表者15名(編)と佳作37名(編)を選考しました。

また、15名の主張発表を踏まえ、当日の審査委員会で京都府知事賞を始め各賞を決定しました。

京都府知事賞を受賞された相楽東部広域連合立笠置中学校3年アブドウル フセイン・ナジュマさんを、全国大会候補者として推薦しましたところ、全国大会発表者に出され、国立青少年教育振興機構奨励賞を受賞されました。

(3) 大会参加者

参加者122名

(4) 市町村民会議等との連携(作文の「推薦制度」の導入)

多くの市町村で主張大会を取り組まれています。大半の大会の開催時期が京都府大会開催日以降であり、全国大会の(11月開催、作文の推薦期限は9月下旬)日程との関係から、京都府大会に係る作文の応募締切を8月上旬とし、大会を9月下旬までに開催しなければならず、市町村大会を京都府大会に繋げることが出来ない中で、市町村大会と京都府大会との連動、取り組みの広がり等を期待し、作文の推薦制度を令和2年度から導入しました。

*「推薦制度」 前年度の京都府大会以降、当該年度の京都府大会までの間に開催された市町村の大会で発表された中学生を、京都府大会に推薦することができる。

【市町村民会議等からの推薦状況】

②5市町 9校(9編)(向日市、久御山町、京田辺市、宇治田原町、与謝野町)

③④5市町 14校(14編)(京田辺市、宇治田原町、舞鶴市、宮津市、与謝野町)

⑤8市町 19校(20編) (城陽市、京田辺市、宇治田原町、精華町、相楽連絡協議会、舞鶴市、宮津市、与謝野町)

(5) 作品集の発行等

入賞作文を網羅した作品集(&絵画展)(別添)を2,600部作成し、関係機関等に配布しました。

また、京都府大会の主張発表を記録したDVDを400枚作成し、各中学校等に配布するとともに、大会の動画(You Tube)を協会のHPに掲載しました。

(6) 中学校長会議等で取組の協力要請

京都市、乙訓・山城・南丹・中丹・丹後及び私立の各中学校長会議で取組の協力要請を行っています。府立の附属中学校については個別に訪問し、協力要請しています。

2 京都府子ども議会(隔年開催)

京都府子ども議会は、隔年開催の事業で、開催年に当たる今年度、協会は共催団体として運営等に協力しました。(令和5年8月10日(木)開催)

【重点目標3】 明るい家庭づくり運動の推進

1 明るい家庭づくり運動の普及・推進

(1) 協会は、青少年の健やかな成長にとって家庭の役割の大切さを再認識していただくため、毎月第4土曜日を「家庭の日」として、明るい家庭づくり運動を進めています。

今年度は、「家庭の日」等に家族がふれあう「きっかけ」となるメニューを協会のホームページ等で毎月シリーズで紹介するなど、家族で話す時間や機会を増やし、家族の思い出や絆づくりとなる取組を進めました。

また、広報誌「わかもの京都」、啓発用のチラシ、「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」入賞作品の巡回展示、協会ホームページ、公用車ボディー等で啓発をしています。

(2) 「絵画展」事業の入賞作品を活用した「明るい家庭づくり運動啓発カレンダー」を2,500枚作成し、各小学校や関係機関等に配布しています。(㊤～)

2 明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展～「明るい家庭づくり」運動の普及啓発事業～

「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」事業は、令和3年度から、京都府の「家族ふれあい大賞」事業の絵画部門と統合し、『「家族ふれあい大賞」「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」』として、京都府・京都府教育委員会・(公社)京都府青少年育成協会の三者の共催で実施しています。

※京都府が、募集チラシを全児童分印刷し、各小学校等を通じ、児童に配布。

- (1) 応募対象
京都府内の小学校及び特別支援学校小学部に在籍している児童

- (2) 応募状況及び入賞・佳作人数

	応募校数	応募数	入賞	佳作
㉘(20回)	17校	256点	15名	8名
㉙(21回)	34校	336点	23名	15名
㉚(22回)	59校	479点	23名	16名
①(23回)	65校	673点	23名	22名
②(24回)	49校	483点	23名	35名
③(25回)	113校	706点	23名	48名
④(26回)	102校	839点	23名	43名
⑤(27回)	111校	796点	23名	34名

- (3) 入賞者等の選考

選考を円滑に行うため、令和2年度事業から、選考委員会の前に、専門家による事前の選考を行っています。

協会の選考委員会(11月6日(月))を経て、京都府が設置する「家族ふれあい大賞審査委員会」(11月20日(月))で入賞作品を決定しました。

京都府知事賞は、京田辺市立草内小学校6年・村上 穂乃歌さん

個別賞(家族ふれあい大賞・「家庭の日」賞・まいにちがたからもの賞)15作品、優秀賞8作品、佳作34作品

- (4) 入賞者(個別賞15名)の表彰式

令和6年2月23日(金・祝)に京都ガーデンパレスで開催しました。

なお、優秀賞及び佳作の賞状は、当該児童の在籍小学校に届け、校長から伝達していただきました。

また、入賞作品の作品集(&主張大会)を2,600部作成し、小学校等に配布しました。

- (5) 今年度の入賞作品の巡回展示

3月5日(火)、南山城村会場からスタートしました。

応募者の増加等に伴い、展示会場が増加しています。

㉘7会場、㉙11会場、㉚16会場、①19会場、②19会場、③24会場

④25会場⑤26会場

※㉚から佳作の児童が在籍する該当市町村に展示の協力を依頼しています。

※宇治市会場は、宇治市教育委員会と共催で実施しています。

- (6) 取組の協力要請

京都市、乙訓、山城、南丹、中丹、丹後、私立の各小学校長会議で児童への周知や作品のとりまとめ等についての協力要請を行っています。

【重点目標4】 青少年の問題行動の防止、非行対策及び社会環境浄化の推進

1 青少年(育成)団体等との連携(協会の取組への参加団体数)

㊸26団体 ㊹22団体 ㊺27団体 ①33団体 ②・③コロナ禍で、協会や団体の取組が中止あるいはWeb開催となりました。 ④7団体 ⑤7団体

2 「京都子育て環境日本一推進会議」への参画

令和3年6月、京都府内の経済・労働団体や保育・教育機関、民間企業、行政など幅広い分野の団体が参加して発足した「京都府子育て環境日本一推進会議」に参画しています。令和5年度は、令和6年3月11日(月)に開催された「推進会議まちづくり部会」に出席しました。

また、「子育て環境日本一」の主要事業「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」による京都府オリジナル「泣いてもかましまへん！」ステッカー等の配布等にも引き続き、協力をしています。

3 京都府青少年健全育成審議会への参画

令和5年度は、開催されませんでした。

4 京都府青少年健全育成功労者等知事表彰への協力(京都府事業)

青少年の健全な育成に多大な貢献のあった個人や団体、他の模範となる活動を行った青少年や団体の功績を讃え、青少年健全育成に対する社会の関心を高めることを目的として京都府知事が「青少年の健全な育成に関する条例」第11条により表彰する京都府事業に協力しました。

【表彰式】

- ・令和5年11月29日(水) 於、京都府公館
- ・受賞者 個人20名 団体5団体(内、協会推薦分 個人12名 団体3団体)

【重点目標5】 会員団体との連携・活動支援

1 青少年(育成)団体等との連携(取組への協会の参加等)

②・③ コロナ禍で、団体の取組の大半が中止となりました。 ④ 7団体 ⑤ 7団体

【令和5年度の市町村民会議等の取組への参加等】

- ・宇治・城陽・久御山青少年健全育成連絡協議会総会 6/22(木)…(会長、事務局長、堀田次長、佐野係長出席)
- ・舞鶴市中学生の主張大会 6/24(土) …後援(&会長メッセージ)
- ・京丹後市青少年健全育成・家庭教育講演会 8/23(水)…(事務局長参加)
- ・亀岡市青少年育成地域活動協議会の啓発活動 11/4(土)…(会長、事務局長、堀田次長、佐野係長参加)
- ・おもろいやんか木幡 11/12(日)木幡中学校…後援(事務局長参加)
- ・綴喜少年の主張大会 令和6年1/27(土)…(会長参加)
- ・宇治市青少年健全育成推進大会 令和6年1/28(日)…(会長参加)

2 会員団体等の活動に対する助言・共催・後援等

②・③ コロナ禍で、団体の取組の大半が中止となりました。 ④ 7団体 ⑤ 6団体

【令和5年度の後援等】

- ・少年を明るく育てる京都大会7/2(日)…後援(会長、事務局長、堀田次長、佐野係長参加)

- ・京都府 PTA 指導者中央研修会 7/11(火) …後援、啓発活動(会長出席、事務局長、佐野係長参加)
- ・第31回いのちの講演会 7/23(日)・大谷中学高等学校 …後援(事務局長参加)
- ・府民交流フェスタ(府立植物園) 11/ 3(金・祝) …協会参加(会長、事務局長、堀田次長、佐野係長、奥野主事)
- ・青少年いいねット京(みやこ)フォーラム 8/21(月) 京都市北文化会館(会長、事務局長、堀田次長参加)
- ・きょうボラふれあい祭 11/19(日)・「ひと・まち交流館京都」…後援(事務局長参加)

3 啓発資材の貸出等

月間横断幕、標語横断幕、啓発活動のぼり(各種)、啓発パネル、啓発活動ジャンパー・ベスト等の貸出や協会作成の啓発用チラシやポケットティッシュ(府薬務課)の提供を行っています。

【その他 法人の運営等】

1 公益社団法人の運営等

- 【総 会】 令和5年6月19日(月) 本願寺間法会館
- 【理 事 会】 第1回 令和5年5月25日(木) 京都ガーデンパレス
第2回 令和5年6月19日(月) 本願寺間法会館
第3回 令和6年3月14日(木) 京都府自治会館ホール
- 【監事監査】 令和5年5月12日(金) 協会活動室
- 【三役会議】 第1回 令和6年1月19日(金) 協会活動室
第2回 令和6年3月 4日(月) 協会活動室
出席者:会長、副会長、常務理事

2 財政基盤の充実

(1) 会員の加入促進(自主財源の確保)

正会員・賛助会員の会費収入が、協会の主だった自主財源です。

協会の理事等の協力を得て、会員(個人、団体)の加入促進を図ることとしています。

※ 正会員・賛助会員の現状(令和5年12月1日現在)

正 会 員 32名、57団体

賛助会員 36名(前年度から1名増)、 2団体

(2) 財源の確保

きょうと地域創生府民会議の補助金(㊹～各年100千円(㊺を除く。))

啓発活動の充実等に活用

㊻11月イオンモール街頭啓発活動に活用

(3) 日常的な経費の節減

ネット印刷の活用、公用車による啓発資料等の配付等

公2 「青少年海洋活動施設事業」の実施状況

【重点目標6】 京都府立青少年海洋センター(マリーンピア)の利用促進

○ 京都府立青少年海洋センターの部

1 概略

京都府から指定管理者として指定を受けた府立青少年海洋センターの管理運営業務を適正に遂行し、青少年の健全育成を図るため、小学校・中学校・高等学校等教育機関をはじめ、青少年団体及び青少年スポーツ団体の理解と協力を得て施設利用の拡大に努めました。

宿泊施設利用人数は令和5年5月8日コロナ感染症が5類に移行しましたが、前年受付分が本年宿泊に反映されるため、特に学校団体は改善されず、全施設利用者数・宿泊人数・利用料収入ともに依然として厳しい結果となりました。

昨年度に引き続き、カッター活動時期を10月末まで約1ヶ月延長し、日帰りでの受入れに対応することで、利用促進に努めました。

2 宿泊施設等の利用状況

(単位:人)

施設名	令和5年度	令和4年度
宿泊施設	11,607	8,709
研修施設	7,655	6,369
海の科学館	1,500	876
ボルダリング場	921	835
トレーニング場	456	293
フィールドアスレチック	3,029	4,000
野外炊事場	3,439	1,829
カッター附属設備	6,169	5,038
合計	34,776	27,949

3 利用促進及び広報活動等

- (1) 京都府道路公社発行の「沿線ガイド」お出かけスポットに毎月掲載(現在も毎月掲載中)
京都銀行・カーディーラー等、約150店舗に配架
- (2) ホームページから公共施設案内予約システムにより空き状況を提供
- (3) フェイスブックによる施設のPR
- (4) 2023年度大学生協の宿泊プラン「合宿・ゼミ旅行の宿」インターネットWEB版及びパンフレット縮刷版に掲載(印刷紙媒体の縮小)
- (5) 合宿情報誌「ザ・合宿」とHP専用の「マジキャン」に掲載
- (6) 近隣観光協会とタイアップし地元産業等を活用しプログラムを充実
- (7) キャッシュレス決済の提供、利用の増加 全24件 1,938,050円(前年度9件 308,050円)

- (8) 大学生協各店舗訪問による営業活動(18 店舗)
- (9) パンフレット配付及び送付(京都府内小中学校 276 校 大阪・神戸中学校 503 校 大阪北地区小学校 273 校 大学生協及び課外活動担当 224 カ所)
- (10) 京都市立小学校校長会及び京都府下各教育局管内の小中学校校長会にて施設 PR 及びパンフレットの配付

4 新型コロナウイルス感染症第5類移行に係る具体的な対策と措置

- (1) 利用者の安心・安全を守る観点から基本的感染対策を作成し実施
- (2) 食堂等のパーテーションを撤去(希望があれば設置可)
- (3) 宿泊利用者の検温と健康調査票の提出を廃止
- (4) 手指アルコール消毒液は継続設置

5 主催事業・共催事業等

本年度は事業計画の 16 事業に1事業を加えた 17 事業を予定しましたが、参加者が得られなかったことにより 3事業は中止としました。

事業名	実施日	参加人員	内容等
共催事業 赤十字水上安全法救助員養成講習Ⅱ	令和5年6月30日(金) ～7月2日(日)	延 28 名	有資格者の救急法・水上安全法等の講習会
親子カヌー体験教室	①令和5年7月22日(土) ～23日(日) ②令和5年9月2日(土) ～3日(日)	① 1家族2名 ② 2家族7名	漕艇方法の習得・水辺の安全教室 MEGA SUP 体験
(日帰り) 日帰り親子カヌー体験教室	令和5年8月5日(土)	2家族4名	漕艇方法の習得・水辺の安全教室 MEGA SUP 体験
(日帰り) 夕暮れ納涼コンサート	令和5年9月10日(日)	30 名	宮津天橋高校加悦谷学舎合唱部と、ウインドオーケストラ与謝アンサンブルの会ひなたぼっこによる合唱と演奏
(日帰り) 施設無料公開	① 令和5年10月22日(日) ② 令和5年11月19日(日)	① 18 名 ② 48 名	施設の無料公開 ②は防災体験含む
(日帰り) NPO 法人スポーツクラブレインボー合同事業「防災学習」	令和5年11月19日(日)	30 名	空き缶ごはん炊き・ポテトチップスオムレット・段ボールピザ釜でのピザ作り
家族利用 DAY	② 令和5年11月18日(土) ～19日(日) ③ 令和5年12月2日(土) ～3日(日)	② 2家族7名 ③ 1家族5名	家族単位での宿泊体験

(日帰り) 第3回宮津田井海まち フェスタ&マリンピア でクリスマス	令和5年12月17日(土)	延400人	宮津天橋高校加悦谷学舎合唱部 他による体育館コンサート、クラブ ト・物品販売
地域スポーツ団体合同 事業「親子のつどい」	令和6年1月20日(土) ~21日(日)	クラブ員61名	親子交流会・ライフジャケット重要 性講習・アウトドアキーリング作成

追加事業等

事業名	実施日	参加人員	備考
協賛事業 阿蘇海環境づくり活動 (カキ殻回収)	令和6年3月1日(金) ~4日(月)	延174名	NPO法人国際ボランティア学生協会 による天橋立での大学生ボランティア 活動

中止した事業

事業名	実施日予定日	備考
親子でカッター体験と野外炊事	令和5年9月23日(土) ~24日(日)	申込者得られず
家族利用DAY	令和5年10月21日(土) ~22日(日)	申込者得られず
(日帰り) 親子で野外炊事体験・クラブト体験	令和5年11月5日(日)	申込者得られず
NPO 法人スポーツクラブ RAINBOW 合同事業 (ニュースポーツ体験)	令和6年2月4日(日)	NPO 法人スポーツクラブ RAINBOW と事業日の日程が合わず中止

6 その他の諸活動

- きょうと子育て応援パスポート事業の実施に伴いフィールドアスレチック・ボルダリングの利用料を免除することにより、家族のふれあいの場を提供しました。
- 京都府消防団応援の店に登録し利用料の減免措置を適用しました。
- 定期的にセンター前浜公園や浜海岸の清掃を実施し環境美化に努めるとともに、剪定作業をはじめ、ペンキ塗装・薪づくりを職員で行い経費節減に努めました。
- 施設利用団体からアンケートを収集し、利便向上やニーズに応じたサービスを心がけるように努めました。
- 主な会議と研修等

日付	項目	会場など
5/1	京都市立小学校校長会	京都市児童館学童連盟
5/8	京都府山城地域校長会	京都府立教職員研修センター
5/9	曳航訓練	田井宮津ヨットハーバー
5/12	京都府青少年育成協会監事監査	京都府青少年育成協会事務局

5/25	京都府青少年育成協会第1回理事会	京都ガーデンパレス
6/19	京都府青少年育成協会 定時社員総会	本願寺 聞法会館
6/19	京都府青少年育成協会第2回理事会	
7/10	救急法講習会	京都府立青少年海洋センター
8/3	青少年育成市町村民会議懇談会(山城Ⅱ)	京田辺市立中央公民館
9/11	青少年育成市町村長会議(乙訓・南丹)	園部総合庁舎
9/12	青少年育成市町村民会議懇談会(中丹・丹後)	京都府総合教育センター 北部研修所
9/20	第1回田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会	京都府立青少年海洋センター
9/26	公益法人立入検査	京都府青少年育成協会事務局
10/6	甲種防火管理再講習	京丹後消防本部
10/7	京都府青少年すこやかフォーラム(南部会場)	京都府総合教育センター
10/16	第2回田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会	京都府立青少年海洋センター
10/18	宮津市面的 DX 化事業説明会	宮津商工会議所
10/18	安全運転管理者講習	みやづ歴史の館
10/21	京都府青少年すこやかフォーラム(北部会場)	京都府総合教育センター 北部研修所
10/30	マリンピア状況報告会	京都府立青少年海洋センター
10/31	宮津市 DX 化事業会議	ミップル
11/3	府民交流フェスタ	京都府立植物園
11/15 ～16	甲種防火管理者新規講習	宮津与謝消防署 本署
11/21	第1回消防訓練	京都府立青少年海洋センター
11/22	第3回田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会	京都府立青少年海洋センター
11/28 ～29	大学生協訪問	京都・大阪・神戸
11/29	年末調整研修会	みやづ歴史の館
12/8	府との打合せ(食事料金値上げについて)	京都府青少年育成協会
12/13	大学生協訪問	滋賀・京都
12/19	マリンピア若手研究会	京都府立青少年海洋センター
1/19	三役会議	京都府青少年育成協会活動室

2/7	宮津市 DX 化事業会議	Zoom 参加
2/7	トライアスロン大会に向けた協議	京都府立青少年海洋センター
2/19	山城教育局管内小中学校校長会	教育センター
2/21	乙訓教育局管内小中学校校長会	乙訓総合庁舎
2/21	事務打ち合わせ	京都府青少年育成協会
2/28	中丹教育局管内小中学校校長会	京都府総合教育センター 北部研修所
2/28	宮津市 DX 化事業会議	Zoom 参加
2/29	南丹教育局管内小中学校校長会	南丹市日吉長生涯学習センター
3/4	京都府青少年育成協会第2回三役会議	京都府青少年育成協会
3/14	京都府青少年育成協会第3回理事会	京都府自治会館ホール
3/15	宮津市 DX 化事業会議	ミップル
3/29	令和6年度田井宮津臨海エリアにぎわい実行委員会	宮津市防災センター
3/31	第2回消防訓練	京都府立青少年海洋センター

(6) 主な施設整備補修等

揚水ポンプモーターベアリング交換	揚水ポンプモーターコイル巻き替え修理
電気室送風機ベアリング交換修理	講堂ブラインド交換
屋外雨水排水水中ポンプ交換	NO1・2貯湯槽給水配管修理
自動ドア補助センサー取替修理	避難誘導灯交換(講堂・宿泊棟1F)
宿泊棟廊下 LED 照明器具交換修理	第3・第4研修室雨漏れ修繕工事
階段昇降機メイン基板交換修理	カッター1・2・3号艇修理
男子脱衣室トイレ換気ファン取替	フィールドアスレチック修理(計6回)
男子・女子浴室 LED 照明交換	屋外スピーカー交換
インデバーリーダー室排気ファン交換	温水ボイラー真空部品交換
男子・女子脱衣室クロス張替	女子浴室ろ過ポンプ整備
第3研修室窓下ボード張替	宿泊室畳裏返し畳表張替え(計 20 室)

○ 宮津市B&G海洋センターの部

1 概略

スポーツを通じて青少年の健全育成及び観光の振興を図る施設として、従来から主に京都府立青少年海洋センターの宿泊団体(研修・野外活動・観光)及び利用者の施設として有機的に連携し有効利用に資すること、更には地域住民の「コミュニティづくり・健康づくりの拠点」及び「海の京都」におけるスポーツ観光の振興拠点として施設提供に努めることを基本としています。

コロナ感染症の5類移行により行動制限が撤廃されてから、体育館の利用人数、利用料とも増となりましたが、夏季中心となるカヌー等の活動に関しては、酷暑が続きキャンセルされることもあり、利用者の伸びは微少となりました。

また、青少年海洋センターのホームページを活用し、PR・広報活動に取り組みました。

2 施設利用状況

		令和5年度	令和4年度
体育館	件数	284 件	255 件
	人数	15,247 人	14,427 人
艇庫	件数	42 件	27 件
	人数	50 人	29 人

3 施設利用促進の取組

冷暖房設備の完備、レスリング備品一式の配備、宿泊施設の併設などレスリング合宿に最適な環境である「海の京都タックルアリーナ」として、京都府立青少年海洋センターと一体的な利用促進に努めました。また、宮津市所在の学校及び宮津市所在の各種団体の体育館利用料金は使用料免除措置を行い、地元地域の利用促進に努めました。

- (1) 2023年度大学生協の宿泊プラン「合宿・ゼミ旅行の宿」インターネットWEB版及びパンフレット縮刷版に掲載(印刷紙媒体の縮小)
- (2) 合宿等を扱う情報誌「ザ・合宿」とHP専用の「マジキャン」へ掲載
- (3) ホームページ・SNSの活用宣伝
- (4) 大学生協各店舗訪問による営業活動(18店舗)
- (5) パンフレット配付及び送付(京都府内小中学校276校 大阪・神戸中学校503校 大阪北地区小学校273校 大学生協及び課外活動担当224カ所)
- (6) 京都市立小学校校長会及び京都府下各教育局管内の小中学校校長会にて施設PR及びパンフレットの配付

4 新型コロナウイルス感染症第5類移行後の具体的な対応・措置

- (1) 利用者の安心・安全を守る観点から感染対策を作成し実施した。
- (2) 手指アルコール消毒液は継続設置 等

5 自主事業・合同事業

京都府立青少年海洋センターと連携しながら、屋外の田井宮津ヨットハーバーで活動するカヌーを使った事業や、地域コミュニティの場となる事業を実施しました。

事業名	期日	人員	内容等
親子カヌー体験教室	①令和5年7月 22日(土) ～23日(日) ②令和5年9月 2日(土) ～3日(日)	①1家族2名 ②2家族7名	カヌーの基本的な漕艇水辺の安全教室 MEGA SUP 体験
(日帰り) 日帰り親子カヌー体験教室	令和5年8月5日(土)	2家族4名	カヌーの基本的な漕艇水辺の安全教室 MEGA SUP 体験
(日帰り) 夕暮れ納涼コンサート	令和5年9月 10日(日)	30名	宮津天橋高校加悦谷学舎合唱部と、ウインドオーケストラ与謝アンサンブルの会ひなたぼっこによる合唱と演奏
(日帰り) 施設無料開放	①令和5年 10月 22日(日) ②令和5年 11月 19日(日)	①18名 ②48名	施設の無料公開 ②は防災体験含む
(日帰り) 第3回宮津田井海まちフェスタ&マリンピアでクリスマス	令和5年 12月 17日(土)	延べ 400名	宮津天橋高校加悦谷学舎合唱部他による体育館コンサート、クラフト・物品販売
地域スポーツ団体合同事業 「親子のつどい」	令和6年1月 20日(土) ～21日(日)	クラブ員 61名	体育館・クラフト・親子交流会・ライフジャケット重要性講習
(日帰り) B&G宮津市ジュニアレスリング教室	令和6年2月 10日(土)	40名	地元レスリング教室の協力

また、体育館を使用した下表の事業を計画しましたが中止としました。

事業名	予定日	中止理由
NPO 法人スポーツクラブ RAINBOW 合同事業 (ニュースポーツ体験)	令和6年2月4日(日)	NPO 法人スポーツクラブ RAINBOW と事業日の日程が合わず中止

6 その他

B&G財団が取り組む『水辺の安全教室』として利用団体のカッター活動時には、ライフジャケットの重要性を説明し、親子でカヌー体験では「自分の命は自分で守る！」の紙芝居を使った啓

発活動を行いました。

施設メンテナンス・修繕としては、体育館空調フィルター清掃と体育館屋上の雨漏り対策を実施しました。

7 主な会議及び研修等

	期日	会場	出席者等
令和4年度 京都府地域海洋センター 連絡協議会監査	令和5年5月1日(月)	京丹波町役場和 知支所	センター職員1名 出席
令和5年度 京都府地域海洋センター 連絡協議会総会	令和5年5月30日(火)	アスエルそのべ	B&G所長、センタ ー職員1名、宮津 市職員1名出席
令和5年度 近畿ブロック地域海洋セン ター連絡協議会総会	令和5年5月30日(火)	アスエルそのべ	B&G所長センター 職員1名、宮津市 職員1名出席
京都府地域海洋センター 連絡協議会リーダー研修 及び指導者研修会	令和5年7月12日(水) ～7月13日(木)	宮津市B&G海洋 センター	センター職員2名 を講師として派遣
令和5年度 近畿ブロックスポーツ交流 会「B&Gスポーツレクリエ ーションのつどい」	令和5年8月10日(木)	南丹市園部B&G 海洋センター スプリングひよし	宮津市職員1名出 席
令和5年度 近畿ブロック地域海洋セン ター連絡協議会担当者会 議	令和5年10月23日(月) ～10月24日(火)	美山町自然文化 村 川鹿荘文化ホー ル	センター職員1名 出席
B&G全国教育長会議	令和5年11月8日(水)	東京:ベルサール 汐留	教育長、宮津市職 員1名出席
B&G全国サミット	令和6年1月23日(火)	東京:ベルサール 汐留	宮津市長、市役所 職員1名出席
2023年度B&G指導員研修 会	令和6年1月30日(火) ～1月31日(水)	東京:イイノホール &カンファレンス センター	センター職員1名 出席